

新年のご挨拶（令和6年元旦）

新年明けましておめでとうございます。

皆様には素晴らしい新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

さて

昨年（令和5年）は日・ナミビア2国間関係に取って、大変有意義な年となりました。具体的には、

3月にはニーポンドカ教育大臣によるJOCV離任メンバーへの感謝状授与があり（ナミビア政府からJOCVに対する感謝状授与は2006年に開始されたJOCVの派遣後初めて）、

6月には日系企業各社によるナミビアへの公式ミッションの派遣があり、

8月には日本からの初の閣僚訪問となる西村康稔経産大臣ご一行のナミビア訪問がありました。この経産大臣のご訪問により、両国政府間の関係強化が確認されたほか、日系企業によるナミビアへの具体的な関心も高まってきております。このほかJOGMEC（エネルギー・金属鉱物資源機構）によるナミビア国内数カ所での資源調査も進んでおり、この調査結果が将来の日系企業のナミビア進出につながることも期待されます。

また、9月には初めてナミビア国立劇場（昨年12月までJOCVも勤務）で日本映画祭を実施しました。

12月に開催されたCOP28では、ナミビアと国際協力銀行（JBIC）の間で、炭素削減プロジェクト等の協力のためのMOUが締結されました。

なお、本年11月には大統領選挙及び国民議会（下院）議員選挙も予定されており、その結果が今後のナミビアの行方を大きく左右するものとなるかもしれませんので、大使館としましても引き続き注視して参ります。

最後に、在ナミビア日本国大使館としましては、JOCVや様々な専門家の派遣などを通じてナミビアの発展に貢献している当地のJICA支所との連携も強化しつつ、上記経産大臣訪問のフォローアップを含め、ナミビアでの日系企業支援も引き続き実施していく所存です。

皆様方の益々のご発展を祈念いたします。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

令和6年元旦

在ナミビア日本国特命全権大使

西牧 久雄